

防災情報共有に資する3次元地図情報調査検討事業

実施主体：国土地理院
事業費：30.1百万円
対象事業：調査研究事業

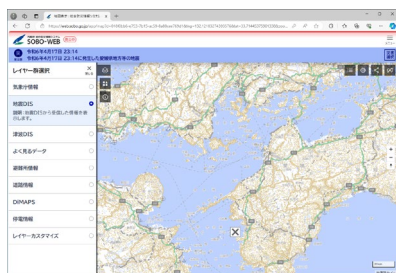
事業目的

令和10年度中の全国整備を目指す3次元地図情報（電子国土基本図）について、防災情報共有のためのベースマップ及び各種災害シミュレーションの基盤として利用するため、効率的に情報を更新・提供可能な環境の調査研究及びプロトタイプ構築を行い、高度な災害シミュレーションの基盤データ等への活用を図ります。

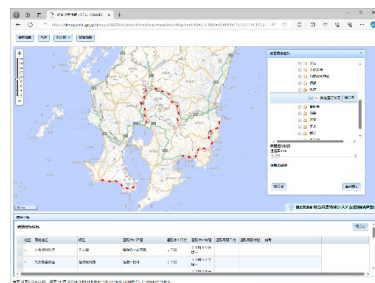
事業概要

連携先：内閣府防災、国土交通省（水管理・国土保全局）

- 電子国土基本図は各種防災情報システムのベースマップとして利用されている高精度な地図情報



内閣府 SOBO-WEB



国土交通省 DiMAPS

- 電子国土基本図を3次元化するにあたり、防災情報システムのベースマップとして利用する上で有効なデータを整備するとともに、効率的に情報を更新し、常に最新の情報を提供可能な環境を構築するための調査研究事業を実施

<事業スキーム>

国土地理院

委託

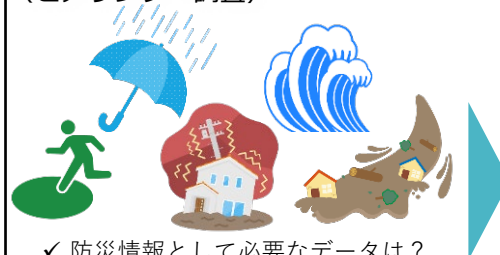
民間事業者

実施イメージ

<本事業で実施する取組>

- 防災情報システムを所管する連携先へのヒアリング
- 効率的に情報を更新・提供できる環境を実現するための技術調査
- 調査結果を反映したプロトタイプの構築

（ヒアリング・調査）



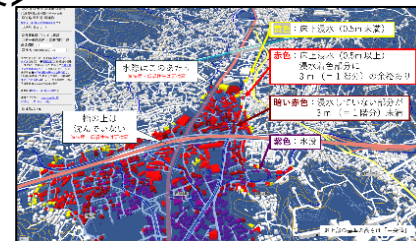
- ✓ 防災情報として必要なデータは？
- ✓ 効率的なデータ整備更新の手法は？
- ✓ 最適なデータ提供環境は？

（プロトタイプ構築）



<本事業により得られる効果>

- 3次元電子国土基本図を防災情報システムのベースマップとして効果を発揮できる形で提供することが可能となり、より高度な災害シミュレーションの基盤データ等への活用も可能となります。



高度な災害シミュレーションへの活用